

|              |                                                                                 |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| Title        | 知識科学教育研究センター業務の報告                                                               |
| Author(s)    | 辻, 誠樹                                                                           |
| Citation     | 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学技術サービス部業務報告集 : 平成20年度: 84-87                                 |
| Issue Date   | 2009-11                                                                         |
| Type         | Presentation                                                                    |
| Text version | publ isher                                                                      |
| URL          | <a href="http://hdl.handle.net/10119/9998">http://hdl.handle.net/10119/9998</a> |
| Rights       |                                                                                 |
| Description  |                                                                                 |

# 知識科学教育研究センター業務の報告

## 0. 知識科学教育研究センターの技術職員の業務

下記の業務ごとにサービス向上への取り組みについて紹介

1. 知識創造支援システムの管理・維持
2. 研究科講義室と特別室の管理・維持

知識科学教育研究センター  
2009年 7月 3日 辻 誠樹



## 1. 知識創造支援システム(1/2)

### 1-1.概要

知識創造支援システムとは、知識科学研究科で教育/研究活動に必要なものをまとめて調達・導入するもので、各カテゴリーにおいてさまざまな装置が導入されており、その管理は知識科学教育研究センターで行っている。

知識創造支援システム概要



技術職員が日常的に管理しているもの

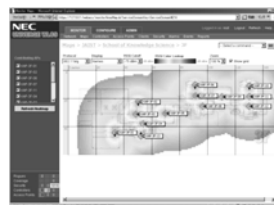
- ・ VODシステム
- ・ 無線IP
- ・ 中規模計算システム
- ・ アプリケーション  
SPSS, AMOS, MATLABなど
- ・ 光トポグラフィ
- ・ アイマークレコーダー
- ・ 学内掲示版システム

## 1. 知識創造支援システム(2/2)

### 1-2. 2008年度中のサービス向上への取り組み

- 08年 4月 Matlab全学サービス開始  
情報科学センターと知識科学教育研究センターでそれぞれ管理していたライセンスを統合し、知識科学教育研究センターでサービスを開始。  
08年 7月 情報、知識科学研究科向けの ターミナルサーバ(TS)へ Matlabをインストールし、利用環境を整えた。
- 08年 7月 無線LANにてゲスト用 SSIDのサービスをテスト的に開始。  
本学で、学外の方も参加するようなイベント、例えば研究会など、が開催されるときに参加者の方が無線LANを利用できるようにするのが目的である。  
セキュリティへ配慮し、ゲスト向けの SSIDには、専用の IPアドレスセグメントを用意した。

無線LANシステムと管理ツール画面



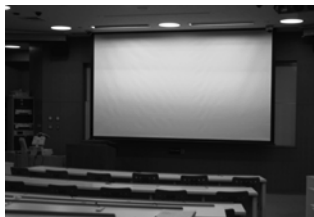
## 2. 研究科講義室と特別室(1/5)

### 2-1.概要

知識科学研究科の講義室と特別室そしてパソコンルームなどの管理は、知識科学教育研究センターで行っている。

- ・ 講義室(中講義室、K1K2、K3K4)
- ・ コラボレーションルーム(コラボ1、2、3)
- ・ デジジョンルーム(1、2)
- ・ 電算室
- ・ 電気工作室

中講義室と電気工作室



## 2. 研究科講義室と特別室(2/5)

### 2-2. 2008年度中のサービス向上への取り組み

#### (1) 講義室 K1K2、K3K4とコラボレーションルーム1、2、3

- 09年 2月 プロジェクター(4200lm、WXGA)更新
  - 09年 3月 プロジェクター(5500lm、WXGA)更新
- コラボ1については、無線LAN対応のものを導入。

講義室K1K2



コラボ3



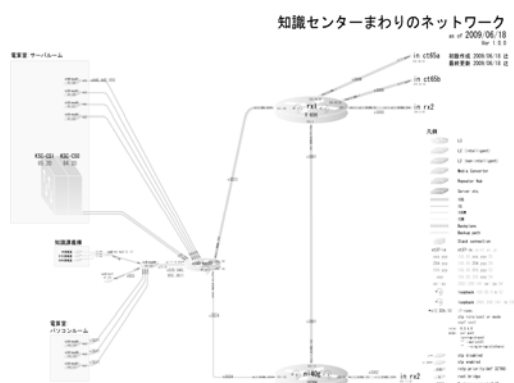
## 2. 研究科講義室と特別室(3/5)

### 2-2. 2008年度中のサービス向上への取り組み

#### (2) 電算室

- ・ 08年 7月 ネットワーク構成を変更しルータによるフィルタの設定を可能にした。

以前は、試験などでパソコン(PC)を学内のネットワークから切り離したいときには、学生にPC本体からLANケーブルを抜いてもらっていたが、その手間を解消するために、ルータ上でフィルタを設定することによって、PC 1台ごとにネットワークへのアクセス制限ができるようネットワークの構成を変更した。



## 2. 研究科講義室と特別室(4/5)

### 2-2. 2008年度中のサービス向上への取り組み

- ・ 08年 8月 パソコンの更新
- ・ 09年 2月 パソコン管理ソフトウェアの更新  
パソコンを管理するソフトウェアを更新した。  
以前の管理ソフトウェアでもパソコンにインストールする OSやアプリケーションの管理をするには問題はなかったが、新しいソフトウェアには、
  - ・リモートから管理対象のパソコン(PC)の画面のモニターや操作ができる機能や
  - ・管理対象 PCのログを収集する機能など
 優れた点があったので、導入することになった。  
リモートから PCの操作ができる機能は、以下のように便利である。
  - ・講義中に先生は、学生さんの実習の進捗状況の確認ができる
  - ・管理者は、PCの設定変更の作業時間の短縮ができる

電算室



管理ソフトのリモートデスクトップ機能



## 2. 研究科講義室と特別室(5/5)

### 2-2. 2008年度中のサービス向上への取り組み

- ・ 09年 3月 プロジェクターの配線を変更  
プロジェクターが増設され、表示装置が 4枚になったので、映像スイッチャーを導入し、プロジェクター1と2そして、プラズマディスプレイにはそれぞれ別々の画を表示できるようにした。

電算室プロジェクター周りの配線図 2009年 4月

